

岡村(一) （松尾） 詩人、新聞人。明治二十四年七月四日長野縣生れ、

昭和五十二年七月九日歿（一九〇一—六）。筆名岡村笛人。大正十五年東

洋大學文學部卒。學生時代詩作を發表。日本新聞聯合社、同盟通信社

勤務を経て、昭和十六年日本新聞聯盟事務局長、翌年日本新聞會理事、

十九年日本新聞配給會事務理事。戦後二十一年（東京タイムズ社を創

立）、および村松正俊等と詩人連邦を興し、詩作を再開。

著書『戦心の手帖』（昭和十七年五月）、『日本豐國社』、『新聞新體制

の理論と實際』（昭和十八年一月東京帝國大學文學部新聞研究室）、

『決戦の文化』（昭和十九年八月）、『日本文藝叢書店』、『詩集』人間経

（昭和四十四年八月十日金剛出版）、『生と死と愛』（昭和四十九年

十一月十日新生社）、『岡村(一)選集』（昭和四十九年十一月十五日

東北書院『詩人叢書』）等。